

(様式6-2)

研修派遣 精算書

令和8年 2月 4日

三田市議会議員 肥後 淳三様

本会派(私)は、研修派遣(参加)に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会派名	さんだの未来 /	代表者	
		議員名	小山裕久 /
参加者氏名	小山裕久 /		
研修先	地方議員研究会 福岡市博多区博多駅前東1丁目16-14 リファレンス駅ビル		
講演会等 研修名	インフラ老朽セミナー /		
研修事項	・下水道一八潮市事故に学ぶ「見えないリスク」と緊急対策 ・インフラ再生に向けた議員提言—先手を打つ自治体だけが生き残る		
日時	令和8年1月8日(木曜日)17時~令和8年1月9日(金曜日)21時 /		
支払金内訳	科目	支出額	摘要
	参加負担金	30,000円 /	15,000円2講座 /
	宿泊料	13,500円 /	
	日当	6,000円 /	3,000円×2
	鉄道賃 (モルレル)	31,460円 /	行き三田~谷上600円 谷上~新神戸280円~博多9,460円 往復 / 行き新神戸~博多新幹線指定席5,290円 帰り博多~ 新神戸新幹線指定席5,490円 + 戻差9,460円×2
	航空賃		
	バス賃		
	船賃		
	タクシー		
	その他		
合計	80,960円		

(様式6-3)

研修等 報告書

令和8年 2 月 4日

三田市議会議員 肥後 淳三様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	小山裕久
参加者氏名	小山裕久		
講演会等研修名	インフラ老朽化セミナー		
研修事項	・下水道－八潮市事故に学ぶ「見えないリスク」と緊急対策 ・インフラ再生に向けた議員提言－先手を打つ自治体だけが生き残る		
日 時	令和8年1月8日（木曜日）17時～令和8年1月9日（金曜日）21時		
場 所	地方議員研究会 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14		
研修の概要 及び所見 (別紙でも可)	別紙のとおり		
添付資料	・ 概要及び所見 ・ 当日資料 2部 ・ 当日の写真 2部		

添付書類（講演会内容のパンフレット等）

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

2026年1月9日(金)地方議員研究会、インフラ老朽化セミナー・下水道一八潮市事故に学ぶ「見えないリスク」と緊急対策・インフラ再生に向けた議会提言―先手を打つ自治体だけが生き残る―を受講いたしましたので初見を述べさせていただきます。

講師の足立泰美氏は現在甲南大学経済学部教授で医学博士、国際公共政策博士で総務省「公営企業の経営健全化等に関する調査研究会」委員、「下水道財政のあり方に関する研究会」委員、またさまざまな自治体に有識者として委員で活躍されています。三田市においても「総合計画審議会専門部会」「三田市民病院経営強化プラン評価委員会における外部アドバイザー」など本市でも多くの外部委員を歴任されています。その経験から今回はインフラ老朽化セミナーとして開催されました。

下水道の「見えないリスク」と緊急対策として、八潮市の事例から陥没事故はなぜ起きたのか、また全国に潜んでいるリスクについて、修繕と更新優先順位をどう付けるか、また小規模自治体が高リスクが高い理由、財政悪化とインフラ劣化は同時進行する、講義とそもそも複雑な下水道事業の概要、運営のありかたなど説明をうけました。以上は市当局としての仕事も含まれる話でしたが、議員のセミナーとして求められる、このような事故が起きてしまった後の話、事故を防ぐ技術論ではなく、事故が起きたとき、説明責任を負う立場として、早期対応と議会の役割についても説明されました。

高度経済成長期に整備されたインフラの再整備については、今日本が抱えている問題、インフラの老朽化、自然災害の多さ、財前不足の問題についてまた今後の対応として、今までの施設に不具合が生じてから対策を行う「事後保全」から、施設に不具合が生じる前に対策を行う「予防保全」への転換により今後増加が見込まれる維持管理更新費の縮減を図る手法など説明をうけました。また議員として、国や県任せにせず現場からの発信と提言の大切さ、根拠に基づいた情報発信、提案する議会への転換の大切さなどもセミナーのなかで説明をうけました。

今回のセミナーをうけ、当然下水道を含むインフラ老朽化の問題は把握はできました、しかし講師の足立氏が今まで多くの省庁、自治体で外部の委員として育まれた経験から、私たち議員として、何をしなければならないのか、成功している自治体は危機感の共有が出来ている自治体である、また誰かが決断しなければならない、それが自治体の未来を決めるとの話は、まさに今三田市において、また私に対しても非常に意味深い話であったとおもいました。

小山裕久

以上 1065 文字